

2015年12月1日

# 「しめ縄づくりのワークショップ」 全国10会場で12月4日から開催 500人で考える本来の正月の意味！

(一社)国際教養振興協会では、日本の年中行事の一つである「お正月」を、より多くの方に正しく理解していただくことを目的として、「チーム 和・KA・ZA・RI プロジェクト」を始動します。

当協会では、4年前より東京都内を中心に、「お正月講座」と「しめ縄づくり」を実施してきました。その理由は「お正月」の意味を知っている日本人が少なくなっているからです。日本のお正月は本来、「年神さま」と呼ばれる農耕の神さまと深い関わりがあり、年始に掲げるしめ縄もその土地でとれた稲わらで作られていたのですが、市販のしめ縄の多くは、雑草である「水草」を用いられていることも少なくありません。

誤解を恐れずに申し上げるならば、現在のお正月は文化的な意味合いとしては破綻しつつあると言えます。それならば、手作りであるが故、見た目は不格好でも文化的に正しいことを経験することで次世代にお正月の意味を繋ぐことを目的に「しめ縄づくり」プロジェクトを展開するに至りました。

本年は、全国10会場で開催を予定しております。次世代に日本固有の文化をつなげていくための最初の一歩として、まずはしめ縄づくりを体験いただき、教養を育む喜びを実感いただければと思います。



チーム 和・KA・ZA・RI プロジェクトのロゴ

## 一般社団法人国際教養振興協会とは

2013年、一般社団法人国際教養振興協会が発足。日本人の「教養力」の向上と「国際教養人」の創出をビジョンに掲げ、「教養」に関するメディアの構築や、教育事業、国際交流事業を行なう。全国で講演会や勉強会なども展開する。日本人としての健全なナショナル／ローカル・アイデンティティに裏打ちされた確かな『教養教育』の機会創出を目指し、自分たちの住む国、そして地域に対する強い愛着と誇りを持った人材育成と企業を国内外に循環させる社会的枠組みを創出を目指し活動している。



代表理事  
東條 英利 (とうじょう・ひでとし)

1972年生まれ。第40代内閣総理大臣東条英機は直系の曾祖父にあたる。教養力の再生が真のグローバルイズムに求められると考え、日本文化・伝承の源泉となる神社・神道を学ぶ仕組みづくりとして、全国神社情報専門ポータルサイト「神社人」を主宰。日本人の基礎教養力向上を目的とした勉強会、講演活動を全国的に展開し、神社、神道、教養といったテーマで各種執筆活動を行っている。著書に「日本人の証明」、「神社ツーリズム」がある。

### <お問い合わせ>

一般社団法人国際教養振興協会「TEAM 和・KA・ZA・RI」事務局 担当：志村  
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前6-19-17 ペリエ神宮前5F  
TEL：03-5766-3872 FAX：03-5766-3873 <http://icpa.jp>